

## 東っ子タイム(総合的な学習の時間)とは

### 〈目標〉

長良に生きる人・自然・文化及び外国の人々やその暮らしに関心をもって課題をつくり、身につけた学びをもとに解決していこうとする態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

目標達成のために育てたい資質や能力として、『かかわる力』『表現する力』を育てることが必要であると考えている。

※かかわる力・表現する力…この力を育てるには、次の4つの力を育てることが大切であると

考えている。  
 【課題を設定する力】【主体的な判断力・行動力】  
 【情報活用能力】【コミュニケーション能力】

### 〈東っ子タイムについて〉

本校では、地域の自然を守る活動(長良川環境レンジャー協会)や、伝統産業に従事している人(鶺鴒)、障がいのある人(長良特別支援学校)や高齢者の方(長良東高齢者クラブ)、などのかかわりを通して、人々の生き方を学ぶことができる環境にあり、子どもたちは、学習対象に関心をもち進んで調べたり、聞き取り調査をしたりすることができる力をもっている。自分の課題を明確にし納得いくまで追究する力に弱さが見られることがあり、このことを克服するためには、かかわる力・表現する力を育てることが必要であると考えている。

### 〈育成する4つの力〉

《課題を設定する力》  
 かかわった対象と既習内容を関連させ、結果を想定した課題を設定することができる。  
 《主体的な判断力・行動力》  
 学んだことを自分の生活に生かし、将来の自分を見据えながら、自ら具体的な活動を行うことができる。  
 《情報活用能力》  
 多くの情報から自分の必要な資料を活用し発信することができる。  
 《コミュニケーション能力》  
 条件意識をもって仲間と話し合いを行い、新たな考えを生み出し、伝えることができる。

### 〈願う子どもの姿〉

ふるさと「長良」に親しみ、「長良」に生きる人々の営みから学び、誇りをもってたくましく生きる子。

- ※中学年 あこがれをもつ子
  - 「長良」に生きる人とかかわることを通して、暮らしへの願いや知恵を学びとっていく子。
  - 願いや課題をもって、生き生きと地域の人とかかわる子。(栽培、制作、体験等)
- ※高学年 誇りをもつ子
  - 明確な課題をもとに地域の歴史や人々に働きかけ、積極的に問題解決する子。
  - 様々な人の営みから自分の生き方を求めていく子。(福祉、国際交流、歴史等)

### 〈活動例～4年生『長良川っていいな』〉

《課題を設定する力》  
 ・長良川の鶺鴒で見たたり聞いたりを基に関連ある情報を集め、関係づけながら課題を設定する力  
 《主体的な判断力・行動力》  
 ・鶺鴒を訪れる人や、鶺鴒に興味をもち鶺鴒の実際について詳しく知ろうと、聞き取り調査をしたり、資料を調べたりして、自らはたどらさける力  
 《情報活用能力》  
 ・鶺鴒のビデオや鶺鴒さんの話から取捨選択をし、自分の考えの根拠を明確にする力  
 《コミュニケーション能力》  
 ・長良川で働く人々の思いや工夫について自分が調べたり考えたりしたことを、仲間や家族により効果的に伝え合い、郷土の長良川への親しみをいっそう深める営みを展開する力



## はぐるま活動(児童会活動)とは

### 〈目標〉

はぐるま活動(児童会活動)は、子ども自らが、全校の仲間意識を高めたり、学校生活を向上させるための自主的な実践活動である。この活動を通じ、自主性や創造性を身につけるとともに、個性の伸長や協力的態度の育成を図る。

### 〈はぐるま活動について〉

本校では、児童会活動を「はぐるま」という。  
 全校を6年生と5年生以下に分け、6年生の力をはぐるまの輪を動かす原動力とすることにより、全校が仲良しになることをめざしている。  
 ・6年生と5年生以下の子どもが、いろいろな活動を通してなかよしの輪を広めることで、長良東小学校でのよりよい暮らしづくりを進める。  
 ・いろいろな活動の企画・実践・反省の場を通して、中心となる6年生一人一人に企画する力、実践する力、反省する力を培うとともに、5年生以下もその活動に呼応した活動の中で、学年の発達段階に応じて企画する力、実践する力、反省する力を培う。

### 〈3つの力の育成にかかわって〉

《企画する力》  
 ・はぐるまの仲が広がったり深まったりするための活動を学年の実態に応じて考えることができる。  
 《実践する力》  
 ・企画した遊びの説明をわかりやすく行ったり一人ひとりに働きかけを行ったりするなど、はぐるまの仲を広げたり深めたりすることができる。  
 《反省する力》  
 ・「企画」「組織」「実践」の3つの視点をもとに、活動内容や働きかけについての振り返りを行い、次の活動に生かそうとすることができる。

### 〈願う子どもの姿〉

- 6年生
  - ・はぐるま行事、なかよし活動などを通して担当学級の子どもたちのかかわりを深めながら、全校のなかよしの輪を広め、その過程において4つの力を培うことができる。
- 1～5年生
  - ・経営部活動、係、当番活動や、学年重点活動を通して学年、学級を母体としてなかよしの輪を広め、その過程において3つの力を培うことができる。

### 〈朝はぐるまと集会活動の年間計画例〉

《朝はぐるま》  
 4月…1年生を迎える会準備  
 5月…1年生を迎える会  
 6月…なかよし遊び  
 7月…なかよし遊び・運動会結団式の準備  
 9月…運動会の応援練習  
 10月…はぐるまスポーツフェスタの準備  
 11月…はぐるまスポーツフェスタの準備と反省  
 12月…なかよし遊び  
 1月…なかよし遊び・5年生への引継ぎ  
 3月…6年生を送る会の準備と練習  
 《集会活動》  
 5月…1年生を迎える会  
 7月…運動会結団式  
 9月…運動会  
 11月…はぐるまスポーツフェスタ  
 3月…6年生を送る会

